

ご挨拶

副理事長 國久保 純

これまで、各地域において地域のリーダーや市民の人々によってまちが創られてきた。信号がある、道路がある、働き先がある、移動する交通手段がある。これらは全て最初からあったものではなく、ひとが時代と共に創り上げてきたものである。呉もそのひとつであり、たくさん先輩方、呉市民の方々が思いを強くもち、積み重ねて創りあげ、出来上がったまちである。生まれて35年、自分や家族が安心して住める、不便なく住めるこの呉という地域に歳を重ねる度に愛着を感じる。

このまちでずっと育ってきた自分であるが、出会ってきたひととの繋がりに深くありがたみを感じる。生んでくれた親がいて、自由闊達な自分を理解してくれる家族もいる。そして多くの仲間がいる。野球の仲間、青年期の仲間、社会人になってからの仲間、そんな仲間とは現在でも相談し合い、お互いの心の支えとなっている。仲間がいるからこそ、自分の自信にも繋がるし、お互いが違う場所においても切磋琢磨し合う事で、今も頑張る事が出来ている。つくづく人は一人では無力であると感じる。人と人との繋がりがあってこそ、ひとを認め、ひとの気持ちを理解し、それが自分の成長となっていく。

現代において実に平和で便利な世であるが、生きていく上でひととのつながりをもっと大切にしてほしい。2018年度のまちづくりラインでは、親と子の繋がり、仲間との繋がりをテーマに活動し、一人でも多くの笑顔を生み出す。その笑顔によってまちがもっと輝きを増す。そんなまちにするべく我々は専心し取り組んでいく。